

学 科	全学科	科目	法学	講義	通年	学習教育 ^{目標}	担当	清水雅彦
学年	5年	分類	Law	選択	2単位	A及びB		SHIMIZU Masahiko
概 要	「法学」というと、「ムズカシイ」「カタイ」というイメージがあるが、私たちの日常生活に欠くことのできないものである。私たちに今、様々な権利や自由が保障されているのは、たまたま20世紀の日本に生まれたからにすぎない。権利・自由の獲得には戦争や革命で多くの犠牲があった。法とは何か、何のためにあるのか。この問いに対して、憲法を中心に日常的な話題から法理論まで考えていく。							
科目目標 (到達目標)	常日頃から社会問題に関心を持って生活し、身の回りの問題について法的な観点から考えるようになること。基本的な法学知識の修得。他人の発言を正確に理解し、また自分の考えを論理的に他人に説明し、討論できるようになること。							
教科書 器材等	播磨信義・木下智史ほか『新・どうなっている日本国憲法!?!』(法律文化社) 『ポケット六法』(有斐閣)							
評価の基準と 方法	定期試験の成績を90%、授業態度・授業への臨み方を10%として評価し、60点以上を合格とする。							
関連科目	3年選択の政治・経済							
授業計画								
	第1回 ガイダンス 第2回 新聞を読む～身の回りにどれだけ法的問題があるかを考える 第3回 法の歴史～痴漢の対処法から人権の歴史を考える 第4回 人権の原理と制約～なぜ電車内で携帯電話を使用してはいけないのか 第5回 人身の自由①～交通違反から警察との対処法を考える 第6回 ビデオ・DVD鑑賞①～人権・法学に関する作品を見る 第7回 ビデオ・DVD鑑賞②～人権・法学に関する作品を見る 第8回 前期中間試験 第9回 人身の自由②～被疑者・被告人の権利、死刑制度など 第10回 幸福追求権～プライバシー権や肖像権は憲法に書いていないけど 第11回 法の下での平等～「バカチョンカメラ」と言ってはいけない理由 第12回 信教の自由～輸血拒否事件、カルト宗教、靖国神社問題など 第13回 表現の自由①～市販のシャンプーの危険性と知る権利 第14回 表現の自由②～わいせつな表現の自由は認められるのか 第15回 前期期末試験 第16回 思想・良心・学問の自由～学生も学校では主人公! 第17回 女性の権利～中絶をすると女性は犯罪者になる!? 第18回 経済的弱者の権利～将来、低所得者は病院に行けなくなる!? 第19回 子どもの権利～個人を尊重する教育理念と現実について 第20回 ビデオ・DVD鑑賞③～人権・法学に関する作品を見る 第21回 労働者の権利～将来、会社人間にならないために 第22回 主権～天皇制と国民主権との関係 第23回 平和主義①～憲法の定める平和主義の理念と可能性 第24回 平和主義②～平和主義に関する現実問題 第25回 ビデオ・DVD鑑賞④～人権・法学に関する作品を見る 第26回 国会～選挙に行く前に知っておきたいこと 第27回 内閣・財政・地方自治～憲法でどのように規定されているのか 第28回 裁判所～ドイツとの比較から日本の裁判を考える 第29回 憲法の保障～憲法を守れない人は公務員になれない!? 第30回 学年末試験							
オフィス アワー	授業日の非常勤講師室。							

